



今度の願いは元気になって家に帰ること！

(前月号のつづき…)

七夕に 願いを込めて…



H氏はパーキンソン病のヤールV度。

胃ろう交換で入院したものの、その後 病院で誤嚥性肺炎となり、このまま入院をしていたら 命に危険があると、無理矢理退院してきた。

退院後も炎症があり、自宅には戻れなかったが、いつも通っている『ケアホーム希望』に帰ってくると、利用者さんのみんなから、「Hさん お帰り～」と、あちこちから 声が聞こえてくる。

表情は 和らぎ、第二の我が家に帰ってきたので ホツとした様子も伺えた。しかし、笑顔で迎え入れたものの、ここからが私たち職員の 痰吸引との戦いが始まる…。

「ボホッ」と、痰がからめば 吸引を看護師と介護職、そして夜は妻も付き添い吸引の嵐。



背中をタッピングして痰を出させ、褥瘡ができないようにと定期的に体の向きを変え、更に24時間 点滴の管理も行方。鼻からは気道が閉塞しないよう、エアウェイが入っている。



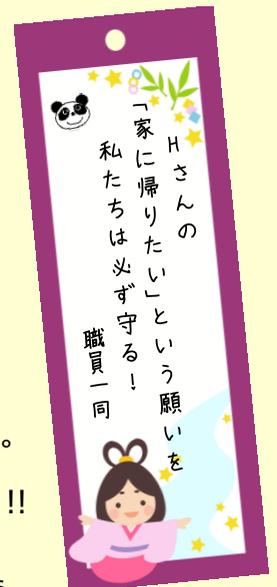
更に、酸素濃度（血液中の酸素量）が低く、在宅酸素療法も始まった。まさに、居室内は病室のようだったが、H氏の周りには いつも職員や利用者さんの賑やかな声と 妻がそばにいてくれる。時にはテレビ電話で孫から「ジイジ がんばって！」の声が聞こえる。

そこには ホツとする ひと時があり、それは 本人にとって何よりの薬だ！

職員は、「毎日急変しないか」と、不安になりながら 1ヶ月が過ぎた。今は病状も落ち着き、精神的にも安定してきている。胃ろうからの注入も少しずつ開始し、日々カロリーアップを図っている。

往診医も何度も心配して診察に来てくれ、医療との連携は充分図れている。

ここ『ケアホーム希望』は病院より手厚い看護、介護だ!!



そして職員は、「Hさんの「家に帰りたい」という 願いを 私たちは 必ず守るからね」と、短冊に書いた。

病人にとってどんなに高度な医療よりも、本人が頑張れる力、免疫力をアップし、病氣と戦える環境を維持し、生きる力を与えることが大切なのである。



脱水予防に努め この夏を乗り切ろう！

作戦



わたし達
食べてばっかり
みたいね～



今日 水？
飲んだか
もう 忘れたよ



わたし達
スイカが 好きね



みんな
良く食べるわね



ここ「ケアホーム希望」では
日々体調管理に努め
食事・水分・排泄をチェック



俺は 栗ようかん
大好きなんだよ！



これ
スムージー？
何味が
わからないけど…
美味しい



ここで作る
白玉ぜんざいが
うまいんだよ

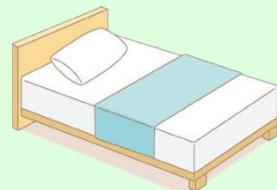


本当は わたし
アイスクリームが
好きなんだけどな



こんな時は どうしよう？

Q. 寝る前は水分を控えるようにしています。
夜中に3～4回 トイレに行くため熟睡できません。
何か良い方法はないでしょうか？



A. 高齢になると、腎臓が夜間にたくさん尿をつくるようになり、膀胱に尿をたくさん溜められなくなり、排尿が近くなります。
トイレに行くのが嫌だからと水分摂取を控え人が多いようですが、脱水になってしまいますので、水分は十分に摂ってください。
また「夜、トイレに行くのが大変だから、トイレに間に合わず、もらしたらどうしよう…」と、心配で熟睡できないケースがあります。
夜だけリハビリパンツや防水シート等を利用するのも安心して過ごす一つの方法です。
試してみてください…？

水分不足は脱水や血液濃度が高くなり、脳梗塞や心疾患などの原因になります。
また、喉が渇いて起きてしまうなど、熟睡の妨げとなりますので、
寝ている間に失われる水分を、寝る前に こまめに摂っておくことが必要です！

